

JSCT2024 参加報告

華岡青洲記念病院 山口隆義

皆様こんにちは、華岡青洲記念病院の山口です。北海道ではあまり関係ありませんが、今年は、本州では雨は降っているのに気温の高い日があったりとかで、梅雨入りがはっきりしない状況でした。そんな中、6月21日～22日に広島で開催されました日本CT技術学会第12回学術大会に参加してきました。北海道からは直行の飛行機が1便出ているのですが、行きは午後便、帰りは午前便と、広島県民よりのフライトスケジュールになっているため、北海道メンバーは前日入りを強いられました。しかしながら、せっかくの広島という事で、広島風お好み焼きで道民前夜祭を開催致しました。

JSCTの学術大会は、昨年札幌開催から2日間のプログラムとなり、多彩で魅力ある企画が目白押しでした。私は、その中のシンポジウム「温故知新・造影理論」でのシンポジストを担当させて頂きました。トップバッターは、森ノ宮医療大学 医療技術学部診療放射線学科の山口功先生で、造影の基礎についてお話がありました。その次に、私の方から「CTAにおける撮影タイミング取得方法・TBT法を中心に」というタイトルでお話しさせて頂きました。そして、とりは川崎医療福祉大学診療放射線技術学科の舛田隆則先生から「薬理学的コンパートメントモデルを応用した造影シミュレーションソフトウェアの紹介と機械学習を使用した最新の造影法」という内容でお話がありました。造影はCTには欠かすことの出来ない検査方法です。造影技術を学び理論的に解釈することは、より精度の高い検査方法を構築する事に繋がりますよね。

TBT法に関しては、先日「TBT法の実践的活用術」という書籍を医療科学社から発刊させて頂きました。私はTBT法に関する基礎的な内容を執筆させて頂き、様々な領域でTBT法を活用頂いているスペシャリストの皆様にご執筆頂きました。とてもわかりやすい内容

となっております,各社の CT 装置での設定方法なども解説しています。
是非,お手にとってご活用頂けますと嬉しいです。

話を JSCT に戻します。JSCT の一般演題といえば,小難しい物理評価ばかりで・・・という印象があるかと思いますが,近年は造影技術や臨床技術に関する報告の方が多く,とても身近で参考になる情報に溢れています。私に関係する心臓領域では,心筋の ECV 値や遅延造影に関する発表が複数あり,大変嬉しく思いました。2 日目に開催されました特別講演は,広島大学の粟井和夫教授から「Photon counting detector CT(PCD-CT)の臨床における可能性」というタイトルでお話があり,現在開発が進んでいるキヤノンメディカルシステムズの PCD-CT の現状に関して,臨床画像も交えながらのご講演下さいました。

2 日間のプログラムが終わり,いよいよ情報交換会が始まりました。昨年の札幌開催では「第 1 回全国 CT クイズ王勝ち抜き決定戦」を行い,大変盛り上がりましたが,今年もこの企画を継承して頂き,大盛り上がりのクイズ大会となりました。全国の CT 大好き技師が集まる会は楽しいですね。ちなみに,今回 web 配信はなく,オンサイトのみでの開催でしたが 300 名近い参加者であったとお聞きしています。もう,そういう時期になりましたね。本当に欲しい情報は足を運んで得るものですよね。Web の画面から飛び出して,リアルを楽しみましょう!!



特定非営利活動法人 日本CT技術学会
第12回 学術大会
The 12th Annual Meeting of Japanese Society of CT Technology
初志貫徹
-Re:start-
会期 2024年6月21日(金)・22日(土)
会場 JMS アステールプラザ 現地開催
広島県広島市中区加古町4番17号

